

1996年 9月15日号  
(平成8年)

No.708

毎月1日・15日発行

発行/芦屋市役所(広報課)

☎0797-31-2121

〒659 兵庫県芦屋市精道町7番6号



8月29日、市民約250人も参加して宮川小学校で防災訓練が行われました。

### 第三次義援金 「生活支援金」を 受け付けています

兵庫県南部地震災害義援金募  
集委員会では、九月二日(月)  
から「生活支援義援金」の受け  
付けを行っています。支給額は  
十万円まで一世帯一回限りです。

■対象  
次のいずれにも該当する世帯の  
かた(世帯の基準は平成七年一  
月十七日現在)  
①震災時芦屋市内で住んでいた  
住家が、全壊・全焼・半壊・  
半焼のいずれかの被害にあい、  
第一次の住家損壊見舞金を受  
領していること  
②世帯員のいずれもの平成七年  
分の所得税法第二十二條に規  
定する総所得金額と山林所得  
の合計額が、六百九十九万円以  
下であること  
\*一時金として受け取った生命保険金、  
土地等の譲渡所得のうち、分離課税分  
は所得に合算しません

■支給方法  
申請内容を確認後、順次申請書記載の口  
座に振り込みます。振込通知はしません。  
混雑が予想されますので、振込確認の問  
い合わせはご遠慮く  
ださい

■申請者  
世帯主(最も所得の  
多いかた)

■申請期間  
九月二日(月)から  
平成九年三月三十一  
日(月)まで

■受付方法  
郵送で受け付けます。  
申請用紙に同封して  
いる封筒に入れて郵  
送してください

■申請用紙配布場所  
市役所玄関受付、応  
急仮設住宅管理班、  
芦屋浜市民サービス  
コーナー、打出教育

### 建築物の高さが10mを超える場合は 届出が必要になります

市では、緑ゆたかな美しいまち並み景観を形成するため、芦屋市都市景観条例(本紙8月1日号に掲載)を、10月1日から施行します。

市の全域を対象として一定規模以上の建築行為(下記参照)について、届出を義務付けており、個人の戸建住宅が高さ10mを超える場合も対象としています。

この届出制度は、建築行為が地域の景観にどう影響し、またどう調和するかを事前に評価し、景観上の配慮を促すものです。

このため「宅地開発等指導要綱及び芦屋市住みよいまちづくりに関する指導要綱」による届出の前に提出していただくことになります。芦屋のまち並み景観の形成にご協力をお願いします。

#### 大規模建築物等の届出が必要な対象施設(概要)

- 1 建築物で、第一種・第二種低層住居専用地域にあっては、高さ8mを超え、かつ建築面積が500㎡を超えるもの
- 2 建築物で、その他の地域にあっては、高さ10mを超え、または建築面積が1,000㎡を超えるもの
- 3 工作物(広告物を除く)で、高さ10mを超え、またはその敷地の用に供する土地の面積が1,000㎡を超えるもの
- 4 広告物で、高さが4mを超え、かつ表示面積の合計が30㎡を超えるもの

問い合わせ 都市計画課みどり景観担当 ☎38-2109

文化センター、ラポルテ市民サービス  
コーナー

■添付書類(写)  
①身分証明書(運転免許証・健康保険証など公的機関の発行したもの)  
②振込先確認用預金通帳(銀行名、支店名、支店番号、口座番号、口座名義人の記載のあるページ)

■添付書類の追加  
①震災当日、芦屋市に住居票・外国人登録のないかたは、平成七年一月十七日現在の世帯員全員の住民票または外国人登録済証明書を添付してください  
②平成八年一月一日現在、芦屋市外に居住し芦屋市から市県民税を課税されていない世帯員のかたは、課税されている市町村発行の八年度の市県民税(七年分所得)の課税証明書または平成七年分の市県民税決定通知書の写しを添付してください(七年分の確定申告の写し、源泉徴収票でも可)  
③その他にも書類を追加していただく場合がありますので、ご了承ください

問い合わせ

保健福祉部総務課課後係  
☎38-2041

### 国道43号沿道まちづくりのためのアンケート 調査結果の集計ができました

国道43号兵庫県沿道整備協議会(注)では、今年3月に沿道地域の被災状況や復興状況を把握し、現状の問題点や今後のまちづくりの取り組み方法についてご意見をお聞きするため、地域住民の皆さんにアンケートをお願いしました。多数の皆さんから回答をいただきありがとうございました。芦屋市域では配布数1370件、回収数513件、回収率は37.4%でした。この結果は今後の43号沿道のよりよい環境づくりに役立てていきます。

調査結果の概要は都市計画課にあります。

(注) 国道43号兵庫県沿道整備協議会：兵庫県、建設省、阪神高速道路公団、兵庫県警察本部、神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市で構成

問い合わせ 都市計画課 ☎38-2073



本市最高齢(105歳)の三澤つるさん

高齢者のかたにとって、震災復興は大きな試練でご苦労も多いかと存じます。社会福祉協議会、福祉公社民生委員さん、老人福祉施設などもどもに芦屋の福祉を推進しておりますので、どうぞお気軽にご相談ください。

芦屋市長 北村春江

### いつまでもお健やかに 市長からのメッセージ 11

老人保健福祉月間初日の九月一日、市内の百歳以上の高齢者のかたのご自宅を訪問させていただきました。本市には、来年三月中旬に百歳になられるお二人を含め、七人の百歳以上の長寿のかたがいらっしゃいます。

本市の最高齢者は、朝日ヶ丘町にお住まいの明治二十四年生まれ三澤つるさんです。現在百五十六歳。来年一月早々には百六歳になられます。関東大震災を以て今回の大震災と、二回も大きな震災に遭遇されたようですが、今はお嬢様がたの温かいお世話と、週二回の訪問看護、デイサービスやヘルパー訪問などの在宅サービスを利用して健康に心がけておられ、お正月には、大きな声で百人一首を読まれるそうです。

男性の最高齢者は、津和町にお住まいの友繁友吉さん。百一歳ですが、しっかりと足取りで玄関まで来られ「きょうはありがとうございます」と挨拶してくださいました。「自然に生かされている」ことを日々感謝しながら生活しておられるそうです。また、デイサービスにも喜んで出かけるそうです。

お訪ねしたいのかたからも百歳以上を生き抜いてこられた重みを感じました。

わが国の平均寿命は男性七十六・三六歳、女性八十二・八四歳で、テンポは少し緩みましたが、世界一の長寿国です。本市でも平成八年四月一日現在、六十五歳以上の高齢者は一万二千八百七十二人おられ、高齢化率は約十六・〇%となっております。

十四日には、昨年に引き続き宮川小学校の体育館で七十歳以上のかたを対象に敬老会を行いました。ご案内は八千三百七十人のかたにいたしました。





## 平成8年度 市立中学・高校生海外派遣

今年度の中学・高校生の海外派遣は8月1日から16日まで、姉妹都市モンテベロ市訪問とフレズノ市でのホームステイを中心に行われました。  
カリフォルニア州フレズノ市は農業を中心に大きく発展した都市で、人々はのどかに生活しています。  
言葉も文化も生活様式も異なるアメリカの地方都市での毎日の生活が、彼らをどう刺激し、何を与えてくれたのでしょうか？

# E・D・U・C・A・T・I・O・N 教育 の ペー ジ

このページの問い合わせは  
学校教育課(☎38-2087)へ

### 海外派遣を通して

(尾合) すべての行程が僕たち派遣生と引率の先生がただのグループで実施できたので、のびのびとした毎日を過ごすことができました。  
フレズノでは外国語としての英語を教える学校でのレッスンが組まれていました。特にLL教室は僕たちの学校と同じ機械が使われていたの

で、とても親しみがわきました。  
先生たちは、授業中に僕たちの知らない単語が出てくると、違う表現でわかりやすく説明してくれました。この学校には全世界から生徒が来ていて、授業はコミュニケーション中心なので、ホストファミリーとの生活に加えて、英語学習でもとても良い経験ができたと思います。

(木村) 英語学校の課外活動で印象に残ったセコイア、ヨセミテの国立公園は、日本では決して見ることでできない大自然の宝庫でした。氷河がぱつぱりと山肌を削ってできたハーフドームや樹齢二千年を越えるセコイア杉の雄大さに感動しました。  
また、フレズノのメトロポリタン美術館では、私たちが評論家になつたつもりで絵を解説する場面も設けられ、とても勉強になりました。

### ホストファミリーとの ふれあいのなかで

(守上) 今回の旅行は私にとって感激と驚きの連続でした。初めてのアメリカ、ホームステイ、何もかもが新鮮で、とても刺激的でした。

- \*派遣された生徒たち  
尾合 佑介 (市芦高2年)  
木村 愛美 (市芦高2年)  
越川 俊平 (精道中3年)  
仲野 弘美 (精道中3年)  
笠原 秀子 (山手中3年)  
川崎 史子 (山手中3年)  
守上 奈央子 (潮見中3年)
- \*引率者  
渡邊 吉王 (指導主事)  
高田 万記子 (市芦高教諭)

ホストファミリーや英語学校の先生がたは、とてもフレンドリーに明るく接してくれました。初めはただ理解するだけで精一杯だった英語も何日も一緒にいるうちに、雰囲気や身振りなどで十分にコミュニケーションをはかれるようになりました。

新しい発見がたくさんあったアメリカへ、もっと勉強しよう一度行きたいと思います。  
(仲野) ホストファミリーはとても良い人たちでした。空港で「こんにちは」とあいさつしてくれた十二歳のアンディは、家に着いてからもペットの名前を日本語で言ってくれました。練習するのはたいへんだったと思うと、うれしさがこみあげてきました。

アンディは蛇が好きで、いくつかさわらせてもらいました。十歳の妹のアリソンとは折り紙などを作って遊びました。  
たくさんの人との出会いの中で得た優しさや思いやりをこれからの生活に生かしていきたいと思っています。

### 生活の中から見た アメリカの素顔

(越川) 僕はアメリカは面積も大きい、人々の心もそれに負けないくらい大きいと思いました。心が大きいというのはお互いの自由を尊重し、人権や個性を大切にすることです。そして、ホストファミリーでの生活などを通して、自由の中にもやはり厳然たるルールというものがあるんだと思いました。

これは、簡単に言うとうちのやるべきことをやり、他人に迷惑をかける、人権や個性を大切にすること、実際に生活して見ないとわからないことに触れることができたら良かったと思います。  
(笠原) 私が持っていたアメリカ

### 「病原性大腸菌O-157」への対応について

- 1 次のようなことを徹底し、安全に注意しながら給食を実施しています。
  - ・設備備品食器等の洗浄消毒強化
  - ・献立内容の変更
  - ・調理従事者の健康点検
  - ・食材および調理済食品の保存延長
  - ・手洗いの励行
- 2 引き続き慎重に対応するため、ウォータークーラーの使用を中止しています。
- 3 ご家庭でも次のことに気をつけましょう。
  - ・適切な食事と睡眠で体力をつけましょう
  - ・ていねいな手洗いをしましょう
  - ・弁当の中身はより安全なものにしましょう

## 平成8年度 芦屋市民体育祭 参加者募集

◎総合問い合わせ  
体育館・青少年センター体育係  
川西町15-31 ☎22-7910

※募集対象(単位) …市内在住・在勤・在学者(種目により年齢制限あり)

(10月6日開催)

- ◎卓球  
●会場…甲南中学校卓球場●内容…トーナメント戦(中学1年S、中学2.3年S)●開始時間…9時30分●対象…中学生●申し込み…井口(☎22-8653、大東町15-2-201)●締め切り…10月3日
- ◎エコロジューウォーク ~芦屋の自然を知ろう~  
●集合場所…阪急芦屋川北広場●内容…レクリエーションウォーク●雨天…小雨決行●集合時間…9時●対象…誰でも参加可能(小学生以下保護者同伴)●申し込み…レクリエーションスポーツ協会事務局(☎22-7910、川西町15-3)●締め切り…10月3日

(10月10日開催)

- ◎剣道  
●会場…潮見小学校体育館●内容…学年別、男女別大会●開催時間…9時30分●対象…小・中・一般(個人)●申し込み…天王寺谷(☎31-0018、伊勢町9-18)●締め切り…10月3日
- ◎ソフトテニス(雨天中止)  
●会場…岩ヶ平テニスコート●内容…トーナメント戦●開催時間…9時●対象…一般・壮年男子(2人単位)●申し込み…当日会場(9時~9時30分)●問い合わせ…室井(☎32-2348)
- ◎卓球  
●会場…打出浜小学校体育館●内容…トーナメント戦(高校・一般年代別)●開始時間…9時30分●対象…高校生以上(個人)●申し込み…井口(☎22-8653、大東町15-2-201)●締め切り…10月3日
- ◎ゲートボール(雨天中止)  
●会場…精道小学校運動場●内容…トーナメント戦●開始時間…8時30分●対象…小学4年生以上(1チーム5~7人)●申し込み…北岡(☎23-0569、緑町6-25)●締め切り…10月3日
- ◎ソフトバレーボール  
●会場…宮川小学校体育館●内容…小学・中学・高校・一般男女・家庭婦人の部●開始時間…10時●対象…小学3年生以上4人1チーム●申し込み…増田(☎23-2830、春日町11-12)●締め切り…9月30日

◎柔道

- 会場…県立芦屋高校柔道場●内容…個人戦・団体戦●開始時間…9時●対象…小・中・高・一般(個人)●申し込み…当日会場(西村☎078-411-3243)

◎空手

- 会場…精道小学校体育館●内容…初心者向き体験講習●開始時間…9時●対象…小学生以上(個人)●申し込み…当日会場(久津那☎22-3978)

◎バドミントン

- 会場…山手中学校・三条小学校体育館●内容…初心者講習会、参加者対抗リーグ戦●開始時間…9時30分●対象…高校生以上(個人)●申し込み…当日会場(村山☎22-7456)

◎少林寺拳法

- 会場…精道小学校体育館●内容…護身術の体験講習会●開始時間…13時●対象…小・中・高・一般(個人)●申し込み…当日会場(村田☎32-8616)

◎ハイキング(雨天決行)

- 集合場所…阪急芦屋川北広場●内容…阪急芦屋川~会下山遺跡~横池~高座の滝●集合時間…9時●対象…小学5年生以上●申し込み…当日会場(大山☎31-1923)

◎ヨット(雨天中止)

- 会場…県立海洋体育館(マリンセンター)●内容…初心者ヨット1日教室●開始時間…10時●対象…小学5年~高校生(個人)●申し込み…中西(☎23-3949、若葉町6-2-364)●締め切り…10月3日

◎バスケットボール

- 会場…県立芦屋高校体育館●内容…男女別親睦ハーフゲーム●開始時間…9時●対象…高校・一般●申し込み…上田(三条町39-10、山手中学校内)郵送のみ・先着各8チーム

◎体力測定(雨天中止)

- 会場…ラポルテ・ベデストリアンデッキ●内容…簡単な体力テスト●開始時間…13時●対象…小・中・高・一般(個人)●申し込み…当日会場(体育指導委員会事務局☎22-7910)

のイメージの中では「怖い」ということが最も大きかったのですが、ホ

ストファミリーと過ごしてみても、そんなに不安など無意味なものだということに気がつきました。フレズノの人々は人種や民族などに関係なく、誰に対しても友好的に接し、素直に自分の感情を豊かに表現します。

テレビなどで見る姿とは違ったアメリカの「親切で優しい」面にふれることができました。これをきっかけにもっとアメリカのことを知りた

いと思っています。  
(檀) フレズノで一番印象的だったことは、一人ひとりが本心に個性を持ち、自分の意見をしっかりと持

て、主張することができるということです。

日本ではどんなことでも他の人と同じようにしなければいけないような雰囲気がありますが、そのところがまったく違っていました。お互いに個性を認め合っているから、自分の思っていることを素直に表現できるのだと思います。

(川崎) 授業の様子も日本とはかなり違います。日本では先生の話をもじって聞いていることが多いけれど、英語学校ではお互いの意見を聞き合う時間の方をたくさん設けます。美術館へ見学に行つたときも、自分が一番好きな絵について意見を話し合いました。初めは恥ずかしかったけれど、自分の思ったことをみんなに聞いてもらえるのはとてもすばらしいことだと思いました。こういった活動を通して一人一人が自分の意見をしっかりと持てるようになるのだと思いました。